杉戸町記者発表資料
○ 令和８年９月１４日（月）
○ 担当課名　住民協働課
○ 担当者職名 課長　氏名 池澤　恵一
○ 担当者職名 主幹　氏名 岩瀬　正治
○ 電話番号　0480-33-1111（内線285）
○ 17時15分以降 0480-33-1159

「ニュースでは分からない現状を知った」

杉戸町×福島県富岡町「防災・復興体験ツアー」を実施

～東日本大震災から１５年、震災を乗り越えて両町の新たな絆を～

埼玉県杉戸町は、友好都市である福島県富岡町と共同で、令和８年８月２２日（土）から２３日（日）の１泊２日にわたり、杉戸町民を対象とした「友好都市福島県富岡町まるごと体験ツアー　～復興と防災を学ぶ～」を開催いたしました。

本ツアーは、東日本大震災発生直後に杉戸町が富岡町民約２６０名を避難所へ受け入れた縁から開催されたものであり、震災から１５年を迎える中、着実に復興へ歩む富岡町の「今」を体感し、また、参加者の防災意識を高めることを目的として実施し、非常に高い満足度とともに無事終了いたしました。

概　要

１　ツアー名　友好都市福島県富岡町　まるごと体験ツアー　～復興と防災を学ぶ～
２　実施日　令和８年８月２２日（土）～２３日（日）　１泊２日
３　参加者　杉戸町在住の方・４０名
４　主催　富岡町・杉戸町
５　行程

【学習】とみおかアーカイブ・ミュージアム（１日目）
学芸員の案内のもと、震災遺産を通じて地域の歴史と複合災害について学習。

【体験】模擬避難所　宿泊体験（１日目）
富岡町文化交流センター「学びの森」を会場とし、実際の災害時を想定した宿泊体験。参加者自身が段ボールベッドやパーテーションを組み立て、避難所の環境をリアルに体験。

ものづくりワークショップ（２日目）
もりの案内人によるものづくりワークショップで、木工細工・火起こし体験。

【交流】富岡夏まつり（１日目）
富岡漁港にて、屋台での食事や打上花火を楽しみながら、地域の方々との交流を通じて復興の力強い活気を肌で実感。

とみおかワイナリー（２日目）
ワインづくりを通じた地域づくりについて見学・食事。

６　参加者アンケートから見る意識の変化

事後アンケートでは、参加者から「非常に満足」との声が多数寄せられました。特に、現地を訪れ、避難所体験等を通じたことで、防災や友好都市交流に対する意識の深化が見られました。

【アンケートの意見】
○「ニュースでは分からない現状が知れて良かった。勉強もできて最高でした」
○「富岡町の方々の被災した事実を知ることで心がとても痛みましたが、友好都市として交流をしていくには、痛みを知ることは必要な知識だと思いました」

○「いつどちらがお世話になるかは分からないので、世話した立場、世話になった立場で無く、対等に交流出来たら良いですね」

○（阪神・淡路大震災経験者の方より）「神戸の焼け野原は今はビルが建ち並び復興したように見えますが、それがあったことを忘れてほしくないです。富岡町の海岸も帰宅困難区域も、きっと変わると思います。それを応援できれば幸いです」

7　今後の展望

今回のツアーを通じて、参加者は「支援する・される」という過去の枠組を超え、共に学び合い、応援し合う「対等なパートナー」としての絆を再確認しました。

杉戸町では、本ツアーで得られた教訓や町民の声を広く共有し、富岡町との次世代を見据えた新たな友好都市交流を推進してまいります。

その他

【別添資料】 ツアーの様子（写真）８枚

■ツアー写真（サンプル）

高画質版や、これ以外の写真も提供可能です。ご希望の場合は担当者までご連絡ください。



とみおかアーカイブ・ミュージアム視察



とみおかアーカイブ・ミュージアム視察



避難所体験・ダンボールベッド作成中



ダンボールパーテーション完成



富岡夏祭り・打ち上げ花火



緑の案内人ワークショップ・火起し体験



とみおかワイナリーにて集合写真



とみおかワイナリーにて集合写真